

# 論点整理について

令和7年3月17日（月）  
熊本県観光文化部スポーツ交流企画課

# 検討会議で検討する内容

## ●検討会議の目的

スポーツ施設の整備の方向性を県において決定するにあたり、スポーツを「する側」と「みる側」の視点や、まちづくり・地方創生に有する価値等を踏まえ、民間活力の導入や民間事業者主体の整備を含め、様々な観点から検討を行う。

県としての整備の方向性を決定する上での参考となる御意見をとりまとめていただく。

## 1-2 検討内容について

～第1回検討会議資料～

● 本検討会議では、主に以下の項目について、検討を行う。

① **課題・役割**：各施設が抱える課題を整理するとともに、スポーツを「する側」「見る側」の視点など、様々な観点から、各施設に求められる役割や必要性を検討する。

② **立地**：各施設の立地を検討する。

(現在の場所とするか、新たな場所を候補地とするかなど)

③ **規模・機能**：各施設の収容人数（規模）のほか、トレーニングルーム・VIP室の有無などの機能面を検討する。

④ **整備手法**：民間事業者主体の整備も含め、各施設の整備手法について検討する。（新設・建替え・改修、公設・民設、公営・民営など）

この他、これまでの様々な御意見を踏まえ論点整理

# これまでの御意見等を踏まえた論点整理（案）

## 整備の必要性

### 1 現状と課題

### 2 整備で期待できる効果

## 整備の方向性

### 1 目的・役割

- ①興行と一般利用の関係
- ②民間・市町村との連携
- ③まちづくりの視点

### 2 規模・機能・財政負担

- ①必要な規模・機能
- ②立地・交通アクセス
- ③整備・運営の主体・手法
- ④コスト・財源・財政負担

## 優先順位付け

優先順位を付ける上での  
考え方、基準等

# 整備の必要性について

## 1)現状と課題

### 4施設に共通する課題

#### 1 施設・設備が老朽化。

施設名	築年数
藤崎台県営野球場(リブワーク藤崎台球場)	64年
熊本武道館	53年
県立総合体育館	42年
県民運動公園陸上競技場(えがお健康スタジアム)	26年

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ 行政は、利用者が安全にスポーツができる環境を整備するべきではないか。
- ✓ 老朽化しているものの、利用者としては現施設は象徴的な施設であり、この場所で競技をしたい。設備の整備等により一定程度利用料金が上がっても利用する。
- ✓ 競技離れや競技振興に支障。快適さや清潔さなどのイメージも大事。

# 整備の必要性について

## 1)現状と課題

### 4施設に共通する課題

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

2 建設当時から使用実態や競技基準、現在求められる競技環境が変化し、施設・設備に不足・不備が生じている。

- ✓ 客席や運営スペース、駐車場等が不足、ユニバーサルデザイン未対応、空調やエレベーターがない。
- ✓ 防音効果が低く応援に支障、イベント等の打診があったものの、施設の構造上等の課題のため断念。

### ●各施設に求められる競技環境の充足状況(例示)

基準	藤崎台県営野球場 (リブワーク藤崎台球場)		熊本武道館		県立総合体育館		県民運動公園陸上競技場 (えがお健康スタジアム)	
	公認野球規則(硬式野球)		各種規則、国スポ施設基準等		Bリーグ(B PREMIER)		Jリーグ スタジアム基準(J1)	
	義務	任意	義務	任意	義務	任意	義務	任意
主な施設要件	座席(公式戦)	○	座席	△	座席(5,000席以上)	×	座席(15,000席～)	○
	グラウンド規格	○	試合場・練習場規格	○	アリーナ・サブアリーナ規格	○	試合場規格	○
	照明・音響放送	○	試合場の数	△	照明・音響放送	△	照明・音響放送	△
	屋根	△	空調設備	×	空調設備	△	屋根	○
	駐車場	△	駐車場	△	大型映像設備	△	大型映像設備	○
	屋内練習場	×	ドーピング検査室	△	飲食関連施設	△	飲食関連施設	△
	ドーピング検査室	△	運営諸室	△	駐車場	△	駐車場	△
	運営諸室	△	選手・観客等導線	×	ドーピング検査室	△	ドーピング検査室	○
	選手・観客等導線	△			スイート・ラウンジ(VIP)	×	スイート・ラウンジ(VIP)	△
					運営諸室	△	運営諸室	○
				選手・観客等導線	△	選手・観客等導線	○	

【凡例】 義務:各基準に規定があるもの 任意:「みる」視点や大会運営で必要性の高いもの  
 ○:要件を満たしている △:要件に一部不足 ×:要件を一切満たしていない

# 整備の必要性について

## 1)現状と課題

### 施設個別の課題

- 1** 【野球場】  
硬式野球ができる野球場が少ない。
- 2** 【武道館、体育館、陸上競技場】  
代替施設はあるものの、施設数の不足や設備等の課題により、大会等の開催運営に支障。  
代替施設はあるものの、熊本市内から遠方では集客が困難。
- 3** 【体育館】  
競技に必要な備品や設備が常設されている施設が限られる。
- 4** 【陸上競技場】  
アクセス対策や改善が必要。

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ 硬式野球の公式戦で利用できるのは、県内で3か所のみ。
- ✓ 日程競合等により使用が困難になっている。プロや大きな大会等が優先され子どもたちの利用が制限。
- ✓ 日々の練習や少人数での審査会・講習会などに利用シーンが限定される。
- ✓ かつては県立体育館で開催し、現在は他の体育館(熊本市外)で実施している大会も、地理的に熊本市内で開催すれば人が来やすく、もっと観客が集まる。
- ✓ 必要な競技用具がない。常設ではないので、競技者を動員しての大きな設営が必要。
- ✓ 渋滞発生、渋滞対策による運営コスト増により大会等の誘致に支障。

# 整備の必要性について

## 2) 整備で期待できる効果

### 期待できる効果

- 1 大規模(国際)スポーツ大会等の誘致によって、スポーツの発展や健康増進、まちの賑わいや経済の活性化につながる。

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ 施設や設備が整備されているところは、大会等の誘致にもつながっている。

### ●大規模(国際)スポーツ大会誘致による経済効果

[県内]	大会名	経済波及効果	備考	出典
	ねんりんピック2011熊本	90億円		熊本県算出
	ラグビーワールドカップ2019	107億円	県内2試合	
	2019女子ハンドボール世界選手権大会	99億円		
	ツール・ド・九州2024	10.7億円	熊本阿蘇ステージ	
	2024熊本マスターズジャパン(バドミントン)	8.4億円		
[県外]	大会名	経済波及効果	備考	出典
	(福井県)アリーナによる経済波及効果	56億円		福井アリーナ整備・運営に関する基本方針(案) (合同会社福井アリーナプロジェクト・2024年2月6日) <a href="https://fukui-arena.jp/news/298/">https://fukui-arena.jp/news/298/</a>
	(愛知県)第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会	1,692億円		第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会開催に伴う経済波及効果について(愛知県) <a href="https://www.pref.aichi.jp/press-release/asia20220725.html">https://www.pref.aichi.jp/press-release/asia20220725.html</a>
	(福岡市)世界水泳2023福岡大会	433億円	開催後	世界水泳選手権2023福岡大会及び世界マスターズ水泳選手権2023九州大会の開催結果について <a href="https://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/kouhou-hodo/hodo-happyo/2023/documents/sesui_release0314.pdf">https://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/kouhou-hodo/hodo-happyo/2023/documents/sesui_release0314.pdf</a>
	(長崎県)長崎スタジアムシティ開業効果	1,436億円 963億円	建設時 開業後	令和6年6月長崎市議会環境経済委員会資料 <a href="https://www.city.nagasaki.lg.jp/gikai/1050000/1054000/2024/p042213_d/fil/35.pdf">https://www.city.nagasaki.lg.jp/gikai/1050000/1054000/2024/p042213_d/fil/35.pdf</a>

# 整備の方向性について

## 1) 目的・役割

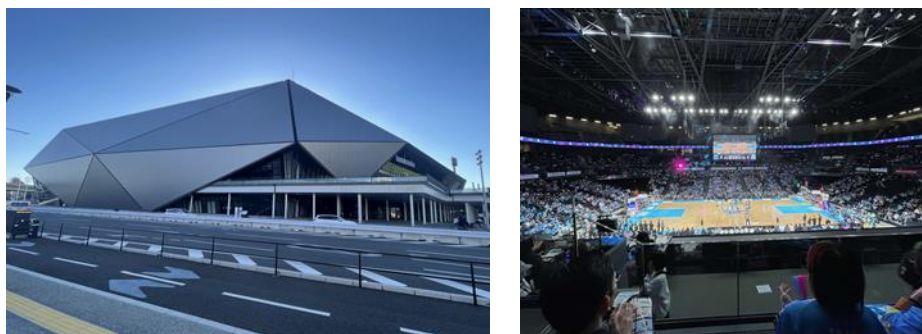
### ① 興行と一般利用の関係

1 施設ごとの目的、方向性などを定める必要がある。大会を誘致する施設なのか、プロ使用か、アマ使用か。

#### ● 目的・役割の例

(R6.11視察)

SAGAアリーナ



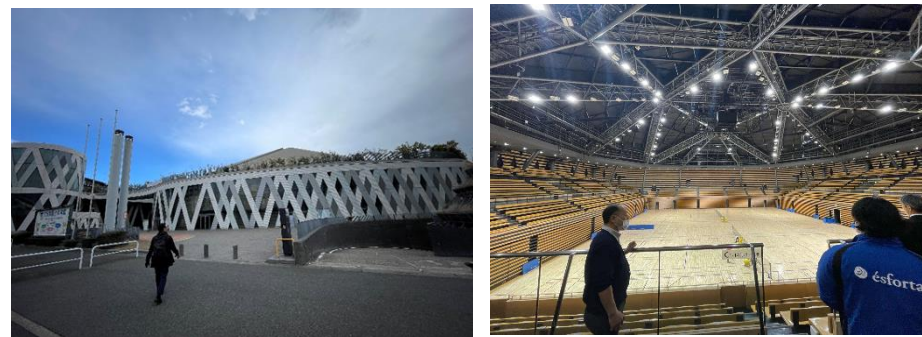
- 「する」「育てる」「観る」がキーワード。
- **スポーツツーリズムを推進できる環境整備**
  - ・全国規模の大会等の開催基準を満たす
  - ・**プロスポーツ**のような「観る」スポーツに対応
  - ・トップアスリートのキャンプ等に対応

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ 興行目的(みる)はアリーナとし、「する」は体育館という役割分担をした方がいい。

(R7.2視察)

大田区総合体育館



- **大田区民が生涯を通じてスポーツに親しむ**ことにより、健康で豊かな人生を楽しむことができる社会の実現に寄与することを目的に設置。
- 施設の利用・予約については、**区民を優先**。プロバスケットチームのホームにもなっており、土日は興行利用がメイン。一般利用は近隣の別の体育施設に誘導。



# 整備の方向性について

## 1) 目的・役割

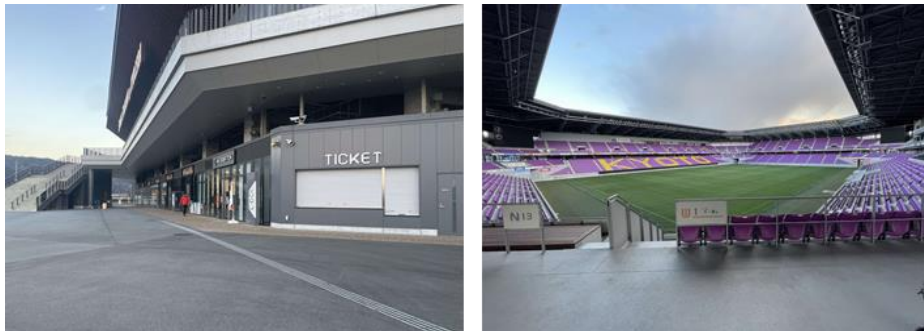
### ① 興行と一般利用の関係

2 地域のスポーツの拠点であり、一般利用についても念頭においた検討が必要。

### ● 興行と一般利用の取扱いの例

(R7.1視察)

サンガスタジアム by KYOCERA(京都府立京都スタジアム)



- 「観る」と「する」の様々なニーズに対応。
- J1 京都サンガF.C.のホーム。客席部分には屋根が張り出し、ピッチとスタンドは1.2mの高低差。
- プロジェクションマッピング等を備えたスタジオやボルダリング設備、eスポーツ専用スペースなどが併設されており、**一般利用が可能**。
- **にぎわい創出**として、屋内アスレチックや保育所、コワーキングスペースも整備。

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ 興行で人が集まることは良いことだが、県大会などの決勝戦くらいは利用したい。

※スポーツ庁「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」から編集  
フラット八戸(八戸市多目的アリーナ)



- 民間企業が自ら施設を整備、管理・運営し、**施設の利用枠(2,500h/年×30年)**を市が**一定期間定額で借り受ける**という事業スキーム。
- 市は、利用枠の対価として、年間1億円の使用料を支払う。
- **利用枠を学校や市民利用枠として活用**。

# 整備の方向性について

## 1) 目的・役割

### ② 民間・市町村との連携

1 公共施設単体ではなく、公民連携による集客施設などの複合的な機能の保有、多目的な場所とすること。民間活力による新たな取組みの創出。

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ 民間の様々な知見や経済力などを取り入れることで、スポーツ興行だけではなく、常に人が集まる拠点となるのではないか。VIPスペース、飲食関係など。
- ✓ [武道館]外国人観光客の受け皿として、民間活力により武道館と一体的な宿泊施設の整備ができないか。

2 市町村と連携し一緒に動いていくこと。意欲のある市町村と協力。熊本市と県の役割をどうするのか。

- ✓ [菊陽町の構想(野球場)]町が一部整備費用等を負担し、県の負担軽減を図る。
- ✓ [体育館]平日の多くは地域住民。周辺学校の授業などでも使用。熊本市の避難所になっている。
- ✓ [熊本市水前寺陸上競技場]フットボール専用スタジアムを作ることにも可能ではないか。

# 整備の方向性について

## ●市町村等と連携した取組みの例

きたぎんボールパーク(いわて盛岡ボールパーク)

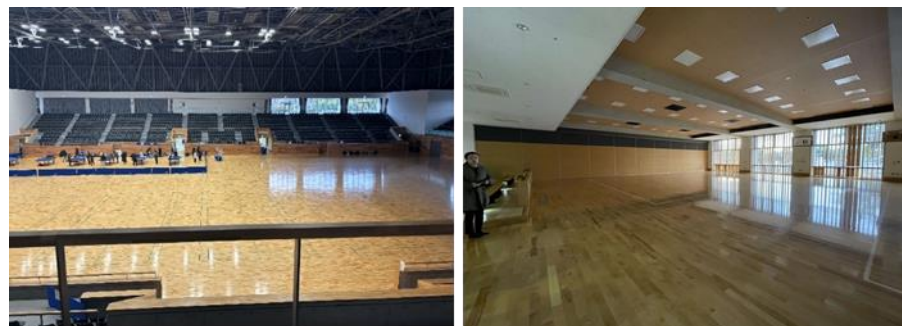
(R6.12視察)



- 岩手県と盛岡市が共同で整備した球場。
- 県球場の市外移転の可能性や財政負担の課題に対し、市から県に共同整備を提案。
- 事業者選定や契約のための調整等を県市が連携・役割分担を行いながら事業推進。

福岡県立久留米総合スポーツセンター(久留米アリーナ)

(R7.1視察)



- 福岡県立久留米総合スポーツセンター内に、久留米市が武道場や弓道場を設置。
- 県立体育館と市武道館、市弓道場が老朽化したことから、県市で一体化して整備。
- 指定管理委託を県が一括で実施。

# 整備の方向性について

## 1) 目的・役割

### ③まちづくりの視点

- 1 周辺のまちづくりと一体的な検討を行い、地域活性化につなげること。

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ [体育館] 大規模アリーナとして生まれ変われば、スマートベニュー※を満たすのではないか。  
※まちづくりの中核としての多機能複合型交流施設
- ✓ [武道館] 博物館のような文化的機能を併せ持った施設。水前寺の文化との関連。
- ✓ [武道館] 水前寺は細川家ゆかりの地。武道、スポーツの融合したまちづくりで活性化につながる。

# 整備の方向性について

## 2) 規模・機能・財政負担

### ① 必要な規模・機能

- 1 施設の利用実態や大規模(国際)スポーツ大会等の開催・運営に求められる施設・設備・備品等の整備。

### ② 立地・交通アクセス

- 1 管理者(県、市町村)の垣根を越えて、県民にとって一番良い立地はどこか。
- 2 施設までの導線や交通アクセスも重要。アクセスの良い立地が一番の肝。交通手段で苦勞せず、県全体から来られるような立地やアクセスに配慮。

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ 客席や運営スペース、空調や駐車場等の整備。ユニバーサルデザイン・インクルーシブの発想での設備整備。防災の観点。
- ✓ 備品の整備や常設が必要。一般利用できる施設がないことから、子どもの練習環境が高校の施設等頼りになっている競技もある。

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ スタジアム・アリーナ改革の基本的な考え方は「駅近・街中」。
- ✓ 対戦チームなど、他の地域から来る人のことを考慮することも重要。
- ✓ 熊本の場合は、「する」側の視点では、車での児童生徒の送迎や競技道具等の持ち運びのため、余裕のある駐車場、駐車スペースが必要。

# 整備の方向性について

## 2) 規模・機能・財政負担

### ③ 整備・運営の主体・手法

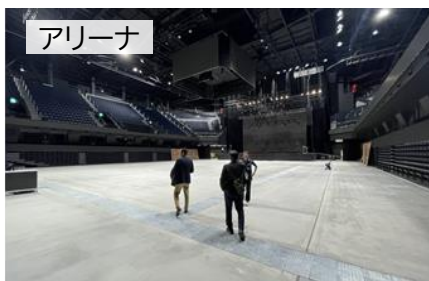
1

民間活力の導入や民間事業者主体の整備・運営。

#### ● 民間活力の導入や民間事業者主体の整備の例

長崎スタジアムシティ(PEACE STADIUM Connected by SoftBank、HAPPINESS ARENA)

(R6.11視察)



- プロチームのスポンサーが用地取得から整備まで**民設民営**で整備した施設。
- 飲食店等の集客施設やホテルなどを**複合的に整備**。
- VIPスペースを企業向けに販売するなど、**民間事業者ならではの取組み**を実施。
- 行政は、施設を中心とした周辺のまちづくり(道路整備、都市計画の変更等)や集客のためのPR等に協力。

ミクニワールドスタジアム北九州(北九州スタジアム)

(R7.1視察)



- 日本初の**PFI**により整備されたスタジアム。
- **複数の事業者で設立したSPC**(特別目的会社)が自ら資金調達を行い、**設計・施工**。建設後は、**施設の所有権を市に移管**。
- **当該SPCが指定管理者となり、市が建設費と運営・維持管理経費を15年をかけて支払うスキーム**(BTO形式)。

# 整備の方向性について

## 2) 規模・機能・財政負担

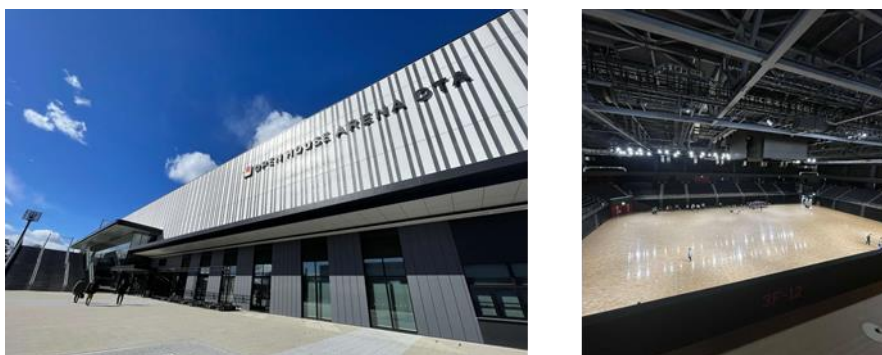
### ④ コスト・財源・財政負担

#### 1 民間資金を活用したスポーツ施設の整備。

#### ● 整備等に係る財源確保の例

(R7.2視察)

OPEN HOUSE ARENA OTA(太田市総合体育館)



- 企業版ふるさと納税を財源として整備。総事業費(約83億円)のうち、約半分を企業版ふるさと納税で賄う。
- 同企業のグループ会社が指定管理者。
- ネーミングライツも導入。

### 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ スポンサーに県外や海外企業その他、地元企業も参加。県民共有財産として県民の出資のような形で広く資金を集めることも考えられる。
- ✓ イニシャルコスト(整備費用)だけではなく、ランニングコスト(運営費用)も考慮。

(R7.1視察)

ヨドコウ桜スタジアム(長居球技場)



- 同施設をホームとするJ1セレッソ大阪が募金団体を設立し、施設(一部スタンド、VIPスペース等)を改修。
- 改修部分を大阪市に寄付する一方で、セレッソ大阪を指定管理者とする負担付寄付(30年間)。施設運営収益により大阪市からの指定管理料は無し。
- 広告掲示の許可やネーミングライツの権限を指定管理者に移管しているため、自ら営業を行い、収益源としている。

# 整備の方向性について

## その他の御意見

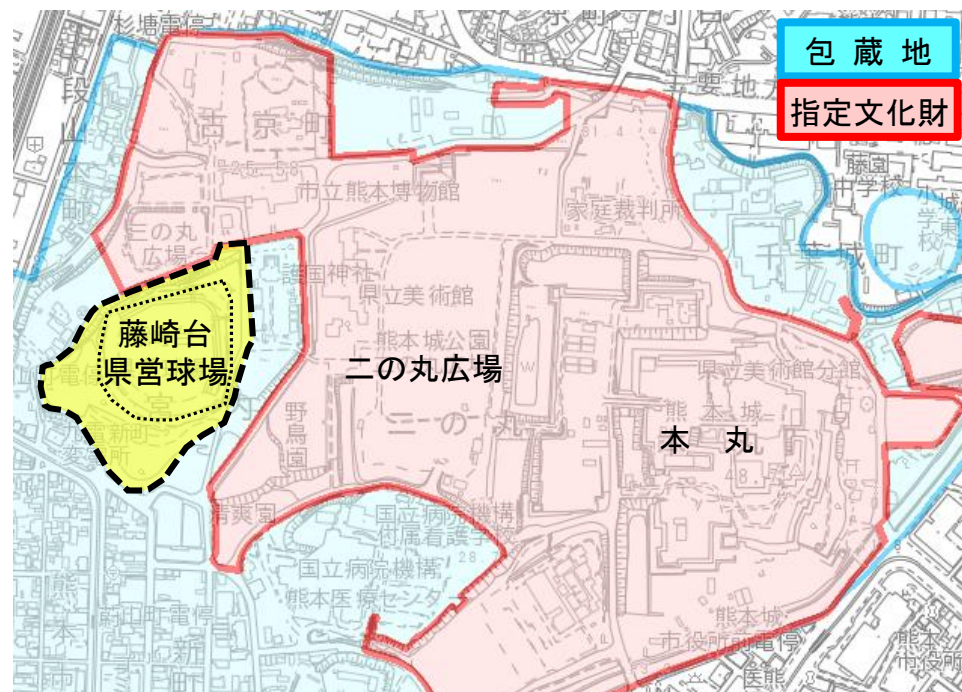
- 子どもの運動・スポーツへの関わり。「する」「みる」だけでなく「支える」「知る」も重要。将来、施設を支える中核は子どもたち。
- 障がい者スポーツセンターを兼ねることはできないか。
- [野球場]文化財保護との関連。

## ●既存施設の規制の例(1/3)

### i) 藤崎台県営野球場

#### ○周知の埋蔵文化財包蔵地

- 貝づか、古墳その他埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地。
- 土木工事等のために発掘しようとする場合は、事業計画の策定に当たって、あらかじめ、文化庁長官(権限移譲により県教育委員会)に通知しなければならない。
- 事前の試掘・確認調査の結果によっては、事前の発掘調査や工事に文化財専門職員の立ち合いが必要となる場合がある。





# 整備の方向性について

## ●既存施設の規制の例(2/3)

### ○特別史跡熊本城跡保存活用計画

- ・特別史跡の保存・活用について、具体的な取組みの内容を位置づけた基本的な計画。
  - ・熊本市では、特別史跡の指定範囲のほか、熊本城域等を含む範囲を計画の対象としている。
  - ・藤崎台球場は、特別史跡の指定範囲外ではあるが計画範囲内である旧城域に位置し、計画内で「現代の利用に関する諸要素」と位置付けられている。保存管理の方針としては「既存施設の適切な管理を行うとともに、適切な配置に努める。各施設の改修に当たっては、地下遺構や景観の保全に配慮する」と定められている。
  - ・熊本城跡については、「旧城域も含め往時の地形等をよく残している」ことから、「特別史跡の指定範囲を旧城域まで拡大することに努める」とされており、旧城域に位置する藤崎台球場周辺も追加指定を検討する地域に含まれる。
- ※工事等の内容や方法等を協議して判断されることになる

### ○天然記念物の取扱い

- ・藤崎台球場の敷地内に存在する藤崎台のクスノキ群は、大正13年に国指定天然記念物に指定されている。
- ・天然記念物に関し「その現状を変更し、またはその保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官の許可を受けなければならない」と定められている。
- ・現状変更とは、指定地内での物理的な変更を指し、樹木の近く(枝張り・根張りの範囲)で工事等を行う際に許可が必要となる。
- ・影響を及ぼす行為とは、指定地内外を問わず、天然記念物の保存、生育に影響を及ぼす行為が対象となり、事前に許可を受ける必要がある。



# 整備の方向性について

## ●既存施設の規制の例(3/3)

### ii)熊本武道館

#### ○都市公園法令との関係

項目	市条例
公園施設の建築面積基準	12%以内
運動施設の敷地面積基準	50%以内

### iii)熊本県立体育館

#### ○特別用途地区

地区の特性にふさわしい環境の保護等の特別の目的を実現するため用途地域を補完して定める地区

##### (制限される用途例)

- ・店舗、飲食店、展示場、遊技場等 ※床面積の合計が1万㎡超
- ・劇場(映画館、客席のある総合体育館、スタジアム等) ※客席部分が1万㎡超

##### (制限されない用途例)

- ・事務所、ホテル、病院、博物館、学習塾 等

# 優先順位付けについて

## 優先順位付け

1 整備の順番、優先順位が必要。

2 5年程度と、10～15年程度の時間軸を分けて考えるのはどうか。

## 検討会議・ヒアリングでの御意見

- ✓ 野球場、武道場、体育館は、陸上競技場よりも優先順位は先ではないか。野球場と体育館に絞って検討を進めることも1つの方法。
- ✓ 陸上競技場は、まだ築26年なので5年程度を想定した場合、新たな施設整備は必ずしも急がなくてもいいのではないか。10～15年後の姿を展望すると、プロサッカーの拠点として、駅近・街中に新スタジアムを建設する方向で検討を進めるのはどうか。
- ✓ 八代市の構想は、5年程度を展望した場合、実現に向けて取り組むに値する。10～15年後のあるべき姿は今後の再開発の動きを踏まえながら、腰を据えて検討してはどうか。

# 論点整理を進めるに当たって、いただきたい御意見

## 整備の必要性

- 現状と課題を踏まえ、整備[ハード面:新設・改修]は必要か、なぜ必要か(全般、各施設ごとにどうか)。
- 現状と課題に対する対応として、整備[ハード面:新設、改修]に限らず、運用面[ソフト面]での対応はできないか。
- 期待できる効果について、経済的な効果以外に何かないか。(地域のシンボリック的存在としての価値、優秀な選手の県外流出防止・県内における競技の更なる発展など)

## 整備の方向性

### 【公民連携を前提として】

- 全般又は各施設ごと、新設又は改修等といった観点での、必要な整備についての考え方や勘案すべき点はどうか。
- 他に必要な論点はないか。

## 優先順位付け

### 【公民連携を前提として】

- どのように優先順位をつけるか、県が優先順位をつけるに当たっての考え方や基準

**検討会議としての意見を整理し、取りまとめる**